

## 緊急人道支援学会 ラウンドテーブルセッション 長期化する紛争下における基礎的な学力の改善

### ■ 要旨

武力紛争、気候変動などの危機の影響を受け、強制移動に追い込まれた人の数は、2010年から約3倍に増加し、約40%が子どもである<sup>1</sup>。これらの危機の影響を受け、質の高い教育へアクセスできていない学齢期の子どもたちは約2億2,400万人いるとされ、就学している1億2,700万人の子どもたちでさえも最低限の読解・算数/数学の習熟度を達成していない<sup>2</sup>。この背景には受け入れ先の教員の不足や経済状況の悪化による学用品不足、安心・安全な学習環境の未整備等のほか、紛争の影響によって増大した暴力や虐待のリスク、長期間の避難生活による精神的なストレス等の心理的要因等も挙げられる。強制移動を強いられた子どもが基礎的な学力を身につけることは、必要なスキルであり、将来の復興を担う人材育成の観点でも重要である一方、強制移動の文脈で基礎学力の向上に焦点を当てた研究は限られている<sup>3</sup>。その中でも、基礎的な学力を測定する有用なツールとして、ASER(Annual Status of Education Report)<sup>4</sup>が注目されている。当該ツールは、2005年にインドのNGOであるPrathamによって開発され、現在、インドのみならず他国における子どもたちの基礎的な読み書き・計算能力の調査においても広範に活用されている。地域住民やボランティアによって評価を実施することが可能であり、学校ベースの調査ではないため、学校に通っている子どものみならず、不就学の子どもの学力も評価することができる。

本ラウンドテーブルでは、難民・避難民の子どもの教育課題の現状とASERについて発表する。また、ASERを用いてセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(SCJ)がレバノン、イエメンで実施した教育事業の成果を紹介する。学力の測定結果から学びの改善に繋がった促進要因や課題を共有し、長期化する紛争下における学びの改善に効果的な取り組みについて、意見交換を行い、今後の教育支援に活かせる実践的な指針を参加者とともに見出していきたい。

### ■ 略歴

#### 【座長】

小松太郎

上智大学総合人間科学部教育学科 教授

上智大学比較文化学部卒、ロンドン大学政治経済大学院(LSE)修士、ミネソタ大学大学院博士(教育政策・行政)。国際協力機構(JICA)パキスタン事務所、ユネスコ・パリ本部プログラム担当官、国連コソボ・ミッション教育行政官、ユネスコ・ボスニアヘルツェゴビナ事務所教育担当官、九州大学大学院准教授等を経て、2013年より現職。

#### 【発表者】

小山光晶

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

民間企業、NPO勤務、エディンバラ大学国際関係論修士を経て2021年12月より公益社団法人

<sup>1</sup> UNHCR, [Refugee Data Finder - Key Indicators](#)

<sup>2</sup> ECW, [Crisis Affected Children and Adolescents in Need of Education Support: New Global Estimates and Thematic Deep Dives | Education Cannot Wait](#) 2023, p2.

<sup>3</sup> [Measuring foundational learning in forced displacement: field insights and lessons | UNHCR Blog](#)

<sup>4</sup> ASER, [About - ASER: Annual Status of Education Report](#)

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(SCJ)に入局。現在、中東・南アジア地域の教育事業を担当。

柳井麻里

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

民間企業勤務後、サセックス大学社会開発学修士と国際協力機構(JICA)本部勤務を経て、2023年2月よりSCJに入局。現在、モザンビークとレバノンの教育事業を担当。

#### ■ セッションの流れ

前半 45 分(16:45～17:30)で、発表者の小山と柳井より、難民・避難民の子どもの教育課題の現状とASERについて、また、SCJが実施してきたイエメンとレバノンの成果について発表する。

後半 45 分(17:30～18:15)で、座長の小松氏のファシリテートのもと、発表内容に関する質疑応答、紛争の影響を受ける子どもの学びの改善に効果的な取り組みや促進要因、実施上の課題、解決案も含め参加者と意見交換を行う。